

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
AM14Z001		医療倫理学 (MedicalEthics)						対面										
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員												
必修	1	1	医学部医学科 先進医療科学 科	前期	月3	氏名 今井 浩光 E-mail imaih@oita-u.ac.jp 内線 5600												
授業の概要	医療における倫理を学ぶ基礎として、倫理の概念、倫理学の歴史と代表的な倫理理論の考え方を学習する。それを元に、社会における医療の意味、医療に求められる倫理、望ましい医療者患者関係などについても、学びを深める。																	
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 倫理学の歴史と代表的な倫理理論を説明できる。																		
目標2 社会における医療の意味について説明できる。																		
目標3 医の倫理、望ましい医療者患者関係について説明できる。																		
目標4																		
目標5																		
目標6																		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1 倫理学の基礎、倫理的判断のあり方																		
2 生命の価値、尊厳、社会と個人のあり方																		
3 規範倫理学1(徳の倫理学)																		
4 規範倫理学2(帰結主義)																		
5 規範倫理学3(義務論)																		
6 権利について(権利論)																		
7 法と倫理																		
8 患者の権利																		
9 医の倫理の歴史																		
10 プロフェッショナリズムと医療者の責務																		
11 医療者患者関係とインフォームド・コンセント																		
12 ケアの倫理																		
13 動画コンテンツ視聴																		
14																		
15																		
ラーニング	A:知識の定着・確認	倫理的なジレンマを生む状況について、自らの考察をまとめ、レポートを作成する。少人数でのグループディスカッションにて多様な考え方があること、多面的な考察の重要性を学ぶ					工夫	その他の	動画コンテンツを利用する。									
タイム	B:意見の表現・交換																	
メソ	C:応用志向																	
ダ	D:知識の活用・創造																	
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	新聞、テレビ、インターネットなどのメディアを通じて、倫理的な課題を含む社会の出来事に常に関心を持つ(15h)																
	事後学修	関心を持った事例について、授業で学習した知識、考え方をを用いて、考察する(15h)																
教科書	資料を配布する																	
参考書	指定しない																	
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10						
	試験	90%																
	レポート	10%																
注意事項																		
備考																		
リンク																		
	URL																	

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の实務 経験	附属病院の医師
実務経験を いかした教 育内容	医療現場で起こる倫理的ジレンマを講義の題材とする。